



コスモ・スクール うすだ

一人一人が輝き つながり 未来を拓く

二学期を振り返って

二学期の始まりは、夏の光が少しずつ遠ざかり、朝の空気に秋の気配が混じり始めた頃でした。始業式の日、子どもたちの顔には夏を駆け抜けた光が残り、その奥に「また始まる」という静かな決意が宿っている様子でした。

八月末、六年生はセイジオザワ音楽会へ。ホールに響く音の波に、子どもたちはただ聴くだけではなく、音楽を「感じる」ことを学びました。指揮者の一振りに息を合わせるオーケストラ、その緊張と調和を見つめる眼差しがありました。

九月、四年生は松本市見学。佐久市とは違う城下町の趣きや空港から飛び立つ飛行機の姿を見つめました。六年生の修学旅行も、ただ「行く」だけではなく、仲間と計画を立て、役割を担い、失敗を恐れず挑戦する姿がありました。修学旅行の本当の意味は、当日ではなく、その前にありました。

十月、二年生の乗り物遠足。電車の窓から見える景色に歓声を上げる子どもたち。初めての体験に胸を躍らせながら、公共の場でのマナーを学ぶ姿がありました。そして、管楽器交歓演奏会、音楽会。舞台に立つまでの練習の日々、声や音が揃わない日々もありました。それでも、互いの声、音を聴き合い、響きを重ねることを学んだ子どもたち。演奏が終わった瞬間、客席からの拍手に包まれた笑顔は、努力の証でした。

十一月、人権教育参観日。自分と向き合い、友達と語り合う時間。そこにあったのは「正解」ではなく、「自分は思う？どう考える？」という問い。その問いに、子どもたちは言葉を探しながら、自分の心を耕していました。金管ありがとうコンサートでは、音に込めた「ありがとう」が、会場いっぱいに広がっていました。

十二月、スケート教室。氷の上で転びながら笑う一年生の姿に、挑戦することの楽しさを教えられます。二年生も、何度も転びながら立ち上がり、滑るたびに少しずつ自信を積み重ねていました。

こうした行事を支えてくださった保護者の皆様、地域の方々に心から感謝申し上げます。送り迎え、準備、応援、そして見守りが、子どもたちの成長を支える大きな力となりました。行事は一日で終わります。しかし、その日までの過程にこそ、子どもたちの輝きがあります。仲間と協力し、失敗を乗り越え、問いを深める姿があります。それら一つひとつが、なりたい自分への確かな一歩です。

二学期、子どもたちは多くの舞台に立ちました。しかし、本当の舞台は日常の中にあります。教室で交わした小さな言葉、休み時間に響いた笑い声、誰かのために動いた一瞬。それらが積み重なり、子どもたちは確かに成長しています。三学期も、その歩みを共に見守り、支えていきたいと思います。



佐久臼田 I.C



先日、通学路の危険箇所として地域の方から挙げていただいた個所を市の職員や警察の方と見回ってきました。その際に一番気になった場所は、中部横断自動車道の佐久臼田 I.C でした。原因としては佐久臼田 I.C を降りてきた自動車の信号無視です。佐久臼田 I.C 付近にはすでに多くの注意喚起をする標識が据え付けてあり、これ以上の設置は逆効果であると警察の方からのご意見をいただきました。しかし、

路面のゼブラゾーンが薄くなっている場所も所々あったので、ゼブラゾーンの再塗装を要望しました。

佐久臼田 I.C をご利用される保護者の方も多いと思います。高速自動車道から一般道に降りる際は、スピード感覚が変わりやすく、交通標識を見落とすことがあります。また、信号が青から赤に変わるときにスピードを出してしまうこともあります。くれぐれもご注意ください。

子どもたちには、青信号でも一旦停止して左右を確認すること、信号機のない交差点でも安全確認をして歩行することを指導しました。ご家庭でもご協力をお願いします。

校長室から

長かった2学期「83日間」が終わりました。インフルエンザでの学校全体のお休みが2日ありましたので、休まずに通った人は、81日登校しました。

日本は春、夏、秋、冬といった四季、4つの季節がはっきりとしています。そのためか、一年間の学びや成長も季節に例えられます。1学期は春から夏、2学期は夏から冬、3学期は冬から春の季節を過ごすことになります。よく秋は収穫の時期に例えて、「実りの秋」と言われます。皆さんは自分自身の成長やできるようになったことを感じていますか。では、冬は？「〇〇の冬」皆さんはどんな言葉を入れるでしょうか。隣の人と理由を含めて意見交換してください。時間は2分。余裕があれば前後の人とも、学年は問いません。

今回のように自分の思っていることをしっかり伝えることは「蓄える（たくわえる）」ことにつながります。これからも大切にして、蓄えてください。

さて、校長先生は「蓄えの冬」と考えます。これまでの学びを「蓄え」ていく時期だと考えます。そして、課題として取り組み解決していくために次はどんなことをしていけば良いか、見通しをもつ時期だと思います。この休みに2学期までの自分の成長（できるようになったこと）を振り返り、その力を蓄えて、新しい年のチャレンジを考えられるといいですね。

また、「感謝の冬」とも思います。一年間お世話になった人、やさしく接してくれた人、反対にそうした自分に感謝を込めた「ありがとう」を素直に言えるときだと思います。先日、5・6年生中心に一年間の通学を見守ってくださった見守り隊の皆さんに感謝を込めてささやかなプレゼントをお渡ししました。そのことで反対に学校や児童の皆さんが感謝されている知らせをいただきました。嬉しいことが膨らんでいきますね。皆さんは今年一年を振り返って誰に感謝しますか。「ありがとうございます」という素敵な言葉で2025年を終えたいですね。

最後に、長い冬のお休みです。ご家族とゆったりと温かな時間を過ごせるよう願っています。また、3学期元気な姿で会いましょう。



年末年始の臼田小学校の閉庁は、12月27日～1月4日となります。

保護者の皆さまによる緊急時の連絡は、教育委員会（0267-62-3478）へ、時間外は市役所宿直へご連絡ください。（0267-62-2111）